鹿市医郷壇

519 樋口　一風　選

兼題「鬼」（おん）

天

清滝支部　鮫島爺児医

母ちゃんの顔じゃっち言た鬼の面

（唱）俺ゆ叱っ時きなこげん見ゆっち

（評）子供は，鬼の面を見て，つい口が滑ってしまいました。それは，怒っている時の，母の顔にそっくりなのです。

能面にはそれぞれの表情がありますが，心を表現していると聞きました。

鬼の面でも人間の心の醜さを表しているのです。子供は正直です。「母ちゃんの顔じゃ」に，怒らず自らを反省しましょう。句を深読みすると，そこのところが見えてきます。心に訴える句です。

地

上町支部　吉野なでしこ

日の丸い鬼監督の目な涙

（唱）苦労した思めが胸ね塞っ上げっ

（評）君が代の伴奏に乗ってゆっくりと日の丸が揚がっていきます。鬼監督とも言われ，優勝の為には妥協をしないで，選手を鍛えた監督の目に涙がこぼれました。

「泣いた赤鬼」と言う童話を思い出しましたが，本当の鬼は優しいのです。原句の下五は「涙しっ」とありました。「涙する」と言う「レトリック（修辞）」は狂句には合わないような気がします。

人

紫南支部　二軒茶屋電停

女房殿が鬼になったでひん逃げっ

（唱）障いが無ごっ何処かい避難

（評）何かあったのでしょうか。何時もは優しい奥様が鬼の形相になっています。

奥様の剣幕に恐々としている様子が分かります。ほとぼりが冷めるまでは，どこかに避難していましょう。「くわばら，くわばら」です。

（お医者さま方だから「鬼手仏心」も，期待していたのですが。）

五客一席　伊敷支部　谷山五郎猫

若け頃ん鬼も今でな好々爺

（唱）孫をば相手い角も丸るなっ

五客二席　清滝支部　鮫島爺児医

豆撒っで母い叱られた鬼な内

（唱）厳しか親い面当て投げっ

五客三席　伊敷支部　谷山五郎猫

鬼嫁ん留守す待っちょって盗と焼酎

（唱）帰っ来た時か大概げち酔くろっ

五客四席　上町支部　吉野なでしこ

何処け居っか分らん鬼に豆を撒っ

（唱）其処たい一杯ぺ撒けば当たろち

五客五席　清滝支部　鮫島爺児医

鬼なんだ見たこっも無て子を脅でっ

（唱）我がん心いも棲んじょったっち

秀　逸

清滝支部　鮫島爺児医

桃太郎鬼退治しか話しゃ無し

コロナ言う鬼に効っとが欲し薬

鬼言どん見たこちゃ無とい本に有っ

伊敷支部　谷山五郎猫

金持っが魔除けい彫った鬼の面

鬼な外豆を撒てかあ恵方巻

狂句鑑賞 158

薩摩狂句暦から

好っち字を彼女ん背中け指で書っ

村野　兵六

聖バレンタインは，三世紀に殉死したローマの司祭だけれども，二月十四日はその祭日。

この日は，女性から公然と求愛をしても良い日とされ，また贈り物を交換する風習があるようである。日本でも，このプレゼントが盛んになって，小学生までがチョコを贈る。

この句の場合は，中学生か高校生だろうが，チョコをもらったニキビ面が，彼女の背に「好き」と指で書く姿がユーモラス。

儲けみっも知たじ夫婦とめもへ六十

今別府　元骨

偽造紙幣を印刷して逮捕された男もいたし，まぎらわしい商標をつけて，本場物だとふれこんでいた大島紬の話，近くは外国の高級時計だと，だまして売ったインチキ商買と，儲けるためには手段を択ばない輩が後を絶たない世の中。

そこまであくどいやりかたでなくても，ちょっと，がめついやりかたをすれば儲かることはわかっていても，それができない正直者が詠んだのがこの句。「もへ」ほ「もうすでに」という意。ほのぼのとした人間味がある。

薩摩郷句鑑賞

薩摩郷句 渋柿　第八百二十三号 雑吟 から

一番槍　遠矢　酎多

ウクライね明けん夜は無ちただ祈っ

（唱）彼処け比べりゃ日本な平和

二番槍　窪　三難坊

狂句作ゆばしちょれば草を取れち女房

（唱）一銭がっもならんち叱っ

三番槍　内野　茶柱

籤じゃ買たで後あ待っちょい福の神

（唱）神棚ね上げっ精一杯ぺ祈らにゃ

四番槍　井戸川　三鶴

済まんねち言かたで婆を顎で下知

（唱）爺ん褒め殺す真面い受けっ

五番槍　川上　秀酔

大事な事ちゃ婆が言ごっせにゃ後て祟っ

（唱）勝手いしたち凄いか返報

郷句募集

◎4号
題吟「欠伸（あくび）」
締切 令和5年3月6日（月）

◎5号
題吟「茶（ちゃ）」
締切 令和5年4月5日（水）

◇選　者　樋口　一風

◇漢字のわからない時は，カナで書いて応募くだされば選者が適宜漢字をあててくださいます。

◇応募先　〒八九二―〇八四六
鹿児島市加治屋町三番十号
鹿児島市医師会『鹿児島市医報』編集係
ＴＥＬ　〇九九―二二六―三七三七
ＦＡＸ　〇九九―二二五―六〇九九
E-mal:ihou@city.kagoshima.med.or.jp